



(左)宮窪さん (右)川端さん

風連産うるち米「こめごころ」(品種名ほしのゆめ)が12月2日から発売となりました。

これは、10月にネーミングとパッケージデザインを市民から募集し、寄せられた646点の作品の中から、ネーミングの部では宮窪奈々恵さん(風連中央小5年)=左=の作品「こめごころ」が、パッケージデザインの部では川端亜由美さん(風連高校3年)=右=の作品が最優秀賞に選ばれました。

「こめごころ」は、J A道北なよろをはじめとする市内取扱店で販売され、今後、道北圏にて販売する計画が進められています。

12/2 「こめごころ」の販売が開始 うるち米の消費拡大を目指す

国内ジャンプ大会の開幕となる、第37回ピヤシリジャンプ大会兼第44回北海道新聞社杯ジャンプ大会が16日に、第22回吉田杯ジャンプ大会が17日にピヤシリジャンプツェで開催されました。

ピヤシリジャンプ大会には、女子の部に11人、少年の部に50人、成年の部に94人が出場し、吉田杯ジャンプ大会には、女子の部に11人、少年の部に47人、成年の部に88人が出場しました。

大勢の観衆や応援団が会場を訪れ、選手たちが描く大きなアーチに歓声や拍手を送っていました。



12/16・17 名寄スペシャルジャンプ 2連戦

12/2 2006地産地消フェア inなよろ

旧名寄市と旧風連町の食品加工展示会を合わせた、2006地産地消フェアinなよろが、市民文化センターで開催されました。

会場には、子どもからお年寄りまでの多くの市民が訪れ、試食、実演・体験、牛乳・牛肉消費拡大格安販売や地元産の野菜・加工品などの販売コーナーを楽しみました。

また、名寄産のもち米を使ったアイディア料理コンテストには、工夫を凝らした19作品が出品され、審査員3人と来場者が審査を行いました。さらに、食育・地産地消フォーラムとして、基調講演とパネルディスカッションが行われ、来場者は食育などの知識を深めていました。

